

おもしろ社会②⑧（歴史編）



江戸時代（3）

江戸時代の農民の暮らしについて、（ ）に合う言葉を□から選んで書きましょう。

江戸時代において、武士の暮らしは、農民からの年貢で支えられていました。そのため、幕府や藩は、農民の支配に力を注ぎ、（ア ）の制度などをとりました。この制度は、自分の田畑を持つ本百姓の中から近隣の5軒を選び、ひとつの組にして連帯させる制度でした。また、村ごとに庄屋（名主ともいう）や組頭などの役員を決めて自治を行わせることで、組織的に農村を支配する体制を整えていました。

江戸時代は武士が支配する世の中でしたが、武士の人口は約（イ ）パーセントでした。一方、農民は（ウ ）パーセントを占め、武士の暮らしを支えていました。したがって、農民は（エ ）をすることを求められ、衣服は木綿と（オ ）、食事は玄米、麦、稗、粟などの（カ ）が中心で、一般的に質素な暮らしぶりでした。

また年貢は、収穫した米の半分を納める（キ ）のように重い負担でした。また米の年貢だけでなく、薪や漆、茶など山野での副業に対する税の（ク ）や、土木工事などの労働力も負担しなくてはなりませんでした。

そのため、悪天候による不作、年貢の引き上げなどがあると、余裕のない農民たちのくらしは成り立たなくなりました。ときは、領主に訴えたり、命がけて（ケ ）を起こしたりすることもありました。

けんやく 儉約	五公五民	15	ざっこく 雑穀	いっき 一揆	7	きぬ 絹	85
50	あさ 麻	ぜいたく	よりあい 寄合	こものなり 小物成	そちようよう 租調庸	五人組	

解答

江戸時代(3)



江戸時代の農民の暮らしについて、()に合う言葉を□から選んで書きましょう。

江戸時代において、武士の暮らしは、農民からの年貢で支えられていました。そのため、幕府や藩は、農民の支配に力を注ぎ、(ア **五人組**)の制度などをとりました。この制度は、自分の田畑を持つ本百姓の中から近隣の5軒を選び、ひとつの組にして連帯させる制度でした。また、村ごとに庄屋(名主ともいう)や組頭などの役員を決めて自治を行わせることで、組織的に農村を支配する体制を整えていました。

江戸時代は武士が支配する世の中でしたが、武士の人口は約(イ **7**)パーセントでした。一方、農民は(ウ **85**)パーセントを占め、武士の暮らしを支えていました。したがって、農民は(エ **儉約**)をすることを求められ、衣服は木綿と(オ **麻**)、食事は玄米、麦、稗、粟などの(カ **雑穀**)が中心で、一般的に質素な暮らしぶりでした。

また年貢は、収穫した米の半分を納める(キ **五公五民**)のように重い負担でした。また米の年貢だけでなく、薪や漆、茶など山野での副業に対する税の(ク **小物成**)や、土木工事などの労働力も負担しなくてはなりませんでした。

そのため、悪天候による不作、年貢の引き上げなどがあると、余裕のない農民たちのくらしは成り立たなくなりました。ときは、領主に訴えたり、命がけて(ケ **一揆**)を起こしたりすることもありました。

けんやく 儉約	五公五民	15	ざっこく 雑穀	いっき 一揆	7	きぬ 絹	85
50	あさ 麻	ぜいたく	よりあい 寄合	こものなり 小物成	そちょうよう 租調庸	五人組	

